

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 熊本県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
熊本市	熊本市民病院	3
熊本市	植木病院	4
荒尾市	荒尾市民病院	5
水俣市	国保水俣市立総合医療センター	6
山鹿市	山鹿市民医療センター	7
上天草市	上天草総合病院	8
宇城市	宇城市民病院	9
阿蘇市	阿蘇医療センター	10
天草市	天草市立牛深市民病院	11
天草市	天草市立栖本病院	12
天草市	国民健康保険 天草市立 新和病院	13
天草市	河浦病院	14
和水町	和水町立病院	15
山都町	山都町包括医療センターそよ う病院	16
くまもと県北病院機構設 立組合	くまもと県北病院	17
小国町外 1 ヶ町公立病院 組合	小国公立病院	18
球磨郡公立多良木病院企 業団	多良木病院	19

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	
				病院名	こころの医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,975 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨		
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	10	4.8	5.6	8.1
精神	190	53.6	57.3	59.8
感染症	-	-	-	-
計	200	51.1	54.7	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,786,170	
決算規模(千円)	797,595,012	
標準財政規模(千円)	418,497,879	
財政力指数	0.41990	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	205.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,731,786			
1 経常収益	1,648,967			
(1) 医業収益	754,321			
入院収益	586,005			
外来収益	144,337			
診療収入計	730,342			
その他医業収益	23,979			
(うち他会計負担金)	18,270			
(2) 医業外収益	894,646			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	873,499			
(うち長期前受金戻入)	15,345			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82,819			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,724,310			
2 経常費用	1,718,968			
(1) 医業費用	1,663,800			
職員給与費	1,030,641	136.6	55.7	98.9
材料費	58,262	7.7	24.7	8.8
(うち薬品費)	47,853	6.3	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,916	1.3	11.0	1.1
減価償却費	160,331	21.3	9.0	12.7
経費	405,524	53.8	23.3	34.6
(うち委託料)	176,642	23.4	11.5	17.1
研究研修費	7,605			
資産減耗費	1,437			
(2) 医業外費用	55,168			
(うち支払利息)	55,164	7.3	1.4	2.9
(3) 特別損失	5,342			
損益				
経常損益	-70,001			
純損益	7,476			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.9		97.7	98.9
医業収支比率	45.3		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	54.1		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	118.2		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	51.5		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	44.0		85.7	64.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,044,785
1 固定資産	3,274,233
(1) 有形固定資産	3,273,992
(2) 無形固定資産	241
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,770,552
(1) 現金及び預金	1,646,941
(2) 未収金及び未収収益	118,607
(3) 貸倒引当金( )	633
(4) 貯蔵品	5,637
3 繰延資産	-
負債合計	2,941,550
1 固定負債	2,049,436
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,485,572
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	512,456
(7) リース債務	51,408
2 流動負債	494,573
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,338
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,748
(6) リース債務	17,626
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	179,857
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	397,541
(1) 長期前受金	864,727
(2) 長期前受金収益化累計額( )	467,186
資本合計	2,103,235
1 資本金	2,089,987
2 剰余金	13,248
(1) 資本剰余金	1,550
(2) 利益剰余金	11,698
負債・資本合計	5,044,785
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	44.2
修正医業収益(千円)	736,051

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	891,769	891,769
資本勘定繰入	-	-
計	891,769	891,769

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	熊本県
	市町村・組合名	熊本市
	病院名	熊本市市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	39,810 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感
診療科数	30	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	380	21.5	82.0	3.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	14.9	-	-
計	388	21.4	82.0	3.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	6.6	7.0

設立団体の状況		
人口(人)	740,822	
決算規模(千円)	398,501,331	
標準財政規模(千円)	192,806,403	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	126.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.2
修正医業収益(千円)	3,750,376

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,766,382			
1 経常収益	4,654,335			
(1) 医業収益	3,822,117			
入院収益	2,422,978			
外来収益	1,247,930			
診療収入計	3,670,908			
その他医業収益	151,209			
(うち他会計負担金)	71,741			
(2) 医業外収益	832,218			
(うち国・都道府県補助金)	1,119			
(うち他会計補助・負担金)	538,860			
(うち長期前受金戻入)	134,336			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,112,047			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,136,767			
2 経常費用	7,283,472			
(1) 医業費用	6,788,420			
職員給与費	4,037,700	105.6	55.7	57.0
材料費	926,215	24.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	458,813	12.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	461,911	12.1	11.0	11.3
減価償却費	269,595	7.1	9.0	9.3
経費	1,539,870	40.3	23.3	22.1
(うち委託料)	853,419	22.3	11.5	11.1
研究研修費	12,315			
資産減耗費	2,725			
(2) 医業外費用	495,052			
(うち支払利息)	136,191	3.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	2,853,295			
損益				
経常損益	-2,629,137			
純損益	-4,370,385			
累積欠損金	19,051,278			
経常収支比率	63.9		97.7	96.4
医業収支比率	56.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	55.5		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,766,051
1 固定資産	24,570,804
(1) 有形固定資産	22,522,606
(2) 無形固定資産	570,130
(3) 投資その他の資産	1,478,068
2 流動資産	3,195,247
(1) 現金及び預金	1,197,674
(2) 未収金及び未収収益	2,183,955
(3) 貸倒引当金( )	234,690
(4) 貯蔵品	48,308
3 繰延資産	-
負債合計	45,170,337
1 固定負債	33,404,644
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,014,347
(2) その他の企業債	12,678,578
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,634,607
(7) リース債務	77,112
2 流動負債	2,842,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	561,713
(2) その他の企業債	293,622
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	427,975
(6) リース債務	43,848
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,410,865
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,922,948
(1) 長期前受金	11,903,862
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,980,914
資本合計	-17,404,286
1 資本金	4,277,925
2 剰余金	-21,682,211
(1) 資本金剰余金	452,015
(2) 利益剰余金	-22,134,226
負債・資本合計	27,766,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	17,404,286
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,481,338

備考：  
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	610,601	610,601
資本勘定繰入	300,206	300,206
計	910,807	910,807

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	416.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	11,764,363
地財法上の資金不足比率(%)	221.2

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	熊本市
				病院名	植木病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,564 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	102	72.1	57.8	69.9
療養	39	73.1	53.9	64.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	141	72.4	56.7	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.9	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	740,822	
決算規模(千円)	398,501,331	
標準財政規模(千円)	192,806,403	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	126.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.6
修正医業収益(千円)	1,427,915

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,723,350			
1 経常収益	1,714,995			
(1) 医業収益	1,495,608			
入院収益	1,108,473			
外来収益	256,081			
診療収入計	1,364,554			
その他医業収益	131,054			
(うち他会計負担金)	67,693			
(2) 医業外収益	219,387			
(うち国・都道府県補助金)	8,804			
(うち他会計補助・負担金)	147,823			
(うち長期前受金戻入)	57,804			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,355			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,940,489			
2 経常費用	1,862,800			
(1) 医業費用	1,772,493			
職員給与費	1,025,865	68.6	55.7	61.3
材料費	135,113	9.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	37,383	2.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	90,865	6.1	11.0	8.2
減価償却費	80,631	5.4	9.0	10.2
経費	525,743	35.2	23.3	30.5
(うち委託料)	239,119	16.0	11.5	13.0
研究研修費	3,039			
資産減耗費	2,102			
(2) 医業外費用	90,307			
(うち支払利息)	32,606	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	77,689			
損益				
経常損益	-147,805			
純損益	-217,139			
累積欠損金	3,082,948			
経常収支比率	92.1		97.7	96.5
医業収支比率	84.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	80.5		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,766,051
1 固定資産	24,570,804
(1) 有形固定資産	22,522,606
(2) 無形固定資産	570,130
(3) 投資その他の資産	1,478,068
2 流動資産	3,195,247
(1) 現金及び預金	1,197,674
(2) 未収金及び未収収益	2,183,955
(3) 貸倒引当金( )	234,690
(4) 貯蔵品	48,308
3 繰延資産	-
負債合計	45,170,337
1 固定負債	33,404,644
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,014,347
(2) その他の企業債	12,678,578
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,634,607
(7) リース債務	77,112
2 流動負債	2,842,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	561,713
(2) その他の企業債	293,622
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	427,975
(6) リース債務	43,848
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,410,865
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,922,948
(1) 長期前受金	11,903,862
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,980,914
資本合計	-17,404,286
1 資本金	4,277,925
2 剰余金	-21,682,211
(1) 資本剰余金	452,015
(2) 利益剰余金	-22,134,226
負債・資本合計	27,766,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	17,404,286
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,481,338

備考：  
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,516	215,516
資本勘定繰入	117,318	116,546
計	332,834	332,062

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	416.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	11,764,363
地財法上の資金不足比率(%)	221.2

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	荒尾市
				病院名	荒尾市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,145 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	270	83.5	85.4	85.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.9	-	-
計	274	82.3	84.2	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	15.4	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	53,407	
決算規模(千円)	23,644,757	
標準財政規模(千円)	11,743,568	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.3
修正医業収益(千円)	5,688,964

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,248,063			
1 経常収益	6,246,133			
(1) 医業収益	5,917,728			
入院収益	3,933,442			
外来収益	1,610,441			
診療収入計	5,543,883			
その他医業収益	373,845			
(うち他会計負担金)	228,764			
(2) 医業外収益	328,405			
(うち国・都道府県補助金)	19,251			
(うち他会計補助・負担金)	228,266			
(うち長期前受金戻入)	11,289			
(うち資本費繰入収益)	33,245			
(3) 特別利益	1,930			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,245,585			
2 経常費用	6,242,318			
(1) 医業費用	6,034,184			
職員給与費	3,116,392	52.7	55.7	59.8
材料費	1,333,948	22.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	794,671	13.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	484,154	8.2	11.0	9.2
減価償却費	247,896	4.2	9.0	9.9
経費	1,314,597	22.2	23.3	27.7
(うち委託料)	603,720	10.2	11.5	12.4
研究研修費	20,681			
資産減耗費	670			
(2) 医業外費用	208,134			
(うち支払利息)	4,662	0.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	3,267			
損益				
経常損益	3,815			
純損益	2,478			
累積欠損金	828,159			
経常収支比率	100.1		97.7	96.3
医業収支比率	98.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	92.7		85.7	83.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,921,709
1 固定資産	2,344,309
(1) 有形固定資産	2,163,535
(2) 無形固定資産	2,109
(3) 投資その他の資産	178,665
2 流動資産	1,577,400
(1) 現金及び預金	657,004
(2) 未収金及び未収収益	922,600
(3) 貸倒引当金( )	3,479
(4) 貯蔵品	1,275
3 繰延資産	-
負債合計	3,266,087
1 固定負債	1,964,736
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	867,912
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,096,824
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,277,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,201
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	217,834
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	749,562
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,081
(1) 長期前受金	119,479
(2) 長期前受金収益化累計額( )	95,398
資本合計	655,622
1 資本金	1,443,386
2 剰余金	-787,764
(1) 資本金剰余金	40,395
(2) 利益剰余金	-828,159
負債・資本合計	3,921,709
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	457,030	457,030
資本勘定繰入	145,620	33,245
計	602,650	490,275

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	水俣市
				病院名	国保水俣市立総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,327 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感災地輪		
診療科数	18	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	357	77.8	72.6	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	361	76.9	71.9	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.8	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	25,411	
決算規模(千円)	15,941,865	
標準財政規模(千円)	8,060,000	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	101.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	52.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.1
修正医業収益(千円)	6,724,259

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,477,158			
1 経常収益	7,472,671			
(1) 医業収益	6,892,182			
入院収益	4,081,810			
外来収益	2,453,860			
診療収入計	6,535,670			
その他医業収益	356,512			
(うち他会計負担金)	167,923			
(2) 医業外収益	580,489			
(うち国・都道府県補助金)	10,886			
(うち他会計補助・負担金)	237,609			
(うち長期前受金戻入)	79,302			
(うち資本費繰入収益)	174,468			
(3) 特別利益	4,487			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,149,285			
2 経常費用	7,084,052			
(1) 医業費用	6,854,054			
職員給与費	3,628,129	52.6	55.7	57.0
材料費	1,453,867	21.1	24.7	24.5
(うち薬品費)	805,453	11.7	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	573,094	8.3	11.0	11.3
減価償却費	502,151	7.3	9.0	9.3
経費	1,229,366	17.8	23.3	22.1
(うち委託料)	292,416	4.2	11.5	11.1
研究研修費	31,817			
資産減耗費	8,724			
(2) 医業外費用	229,998			
(うち支払利息)	26,406	0.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	65,233			
損益				
経常損益	388,619			
純損益	327,873			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.5		97.7	96.4
医業収支比率	100.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.4		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	99.8		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,574,527
1 固定資産	5,316,474
(1) 有形固定資産	5,040,184
(2) 無形固定資産	430
(3) 投資その他の資産	275,860
2 流動資産	5,258,053
(1) 現金及び預金	4,125,230
(2) 未収金及び未収収益	1,090,673
(3) 貸倒引当金( )	1,224
(4) 貯蔵品	43,374
3 繰延資産	-
負債合計	5,356,084
1 固定負債	3,546,754
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,977,682
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,569,072
(7) リース債務	-
2 流動負債	986,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	361,271
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,432
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	317,453
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	822,703
(1) 長期前受金	1,484,104
(2) 長期前受金収益化累計額( )	661,401
資本合計	5,218,443
1 資本金	2,049,818
2 剰余金	3,168,625
(1) 資本金剰余金	14,205
(2) 利益剰余金	3,154,420
負債・資本合計	10,574,527
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	405,532	405,532
資本勘定繰入	183,784	174,468
計	589,316	580,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	山鹿市
				病院名	山鹿市民医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,198 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	197	69.9	73.7	76.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	201	68.5	72.3	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	18.8	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	52,264	
決算規模(千円)	29,010,602	
標準財政規模(千円)	16,655,953	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収益(千円)	3,041,523

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,580,548			
1 経常収益	3,562,402			
(1) 医業収益	3,117,539			
入院収益	2,225,037			
外来収益	660,076			
診療収入計	2,885,113			
その他医業収益	232,426			
(うち他会計負担金)	76,016			
(2) 医業外収益	444,863			
(うち国・都道府県補助金)	8,718			
(うち他会計補助・負担金)	163,192			
(うち長期前受金戻入)	14,785			
(うち資本費繰入収益)	241,233			
(3) 特別利益	18,146			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,623,902			
2 経常費用	3,619,250			
(1) 医業費用	3,463,562			
職員給与費	2,109,162	67.7	55.7	59.8
材料費	574,872	18.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	239,393	7.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	303,489	9.7	11.0	9.2
減価償却費	284,182	9.1	9.0	9.9
経費	483,000	15.5	23.3	27.7
(うち委託料)	236,687	7.6	11.5	12.4
研究研修費	9,824			
資産減耗費	2,522			
(2) 医業外費用	155,688			
(うち支払利息)	45,991	1.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	4,652			
損益				
経常損益	-56,848			
純損益	-43,354			
累積欠損金	1,093,314			
経常収支比率	98.4		97.7	96.3
医業収支比率	90.0		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	91.8		85.7	83.5

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,333,965
1 固定資産	3,733,013
(1) 有形固定資産	3,651,766
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	81,247
2 流動資産	600,952
(1) 現金及び預金	58,126
(2) 未収金及び未収収益	560,332
(3) 貸倒引当金( )	33,173
(4) 貯蔵品	15,667
3 繰延資産	-
負債合計	5,117,518
1 固定負債	3,868,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,489,486
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	600,000
(6) 引当金	778,770
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,146,592
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	446,320
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	162,671
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	360,000
(8) 未払金及び未払費用	164,048
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,670
(1) 長期前受金	415,609
(2) 長期前受金収益化累計額( )	312,939
資本合計	-783,553
1 資本金	174,118
2 剰余金	-957,671
(1) 資本金剰余金	103,795
(2) 利益剰余金	-1,061,466
負債・資本合計	4,333,965
不良債務	99,320
実質資金不足額	99,320
資金不足額( )	783,553
資本不足額(繰延収益控除後)( )	680,883
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,208	239,208
資本勘定繰入	241,233	241,233
計	480,441	480,441

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	99,320	3.2
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	99,320
地財法上の資金不足比率(%)	3.1

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	上天草市
				病院名	上天草総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,805 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
診療科数	23	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	149	77.7	75.5	79.2
療養	46	90.8	88.6	93.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	80.8	78.6	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	15.9	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	27,006	
決算規模(千円)	20,937,094	
標準財政規模(千円)	10,074,527	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,549,068			
1 経常収益	3,532,732			
(1) 医業収益	2,927,787			
入院収益	1,807,550			
外来収益	863,686			
診療収入計	2,671,236			
その他医業収益	256,551			
(うち他会計負担金)	73,897			
(2) 医業外収益	604,945			
(うち国・都道府県補助金)	12,626			
(うち他会計補助・負担金)	92,033			
(うち長期前受金戻入)	38,502			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,336			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,588,793			
2 経常費用	3,588,791			
(1) 医業費用	2,933,733			
職員給与費	1,965,603	67.1	55.7	61.3
材料費	424,449	14.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	160,478	5.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	217,306	7.4	11.0	8.2
減価償却費	188,710	6.4	9.0	10.2
経費	334,790	11.4	23.3	30.5
(うち委託料)	106,166	3.6	11.5	13.0
研究研修費	5,681			
資産減耗費	14,500			
(2) 医業外費用	655,058			
(うち支払利息)	3,542	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	2			
損益				
経常損益	-56,059			
純損益	-39,725			
累積欠損金	1,118,440			
経常収支比率	98.4		97.7	96.5
医業収支比率	99.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	93.8		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,885,599
1 固定資産	4,293,760
(1) 有形固定資産	4,270,894
(2) 無形固定資産	3,946
(3) 投資その他の資産	18,920
2 流動資産	591,839
(1) 現金及び預金	55,032
(2) 未収金及び未収収益	508,352
(3) 貸倒引当金( )	994
(4) 貯蔵品	27,406
3 繰延資産	-
負債合計	2,851,412
1 固定負債	2,058,484
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,574,071
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	484,413
(7) リース債務	-
2 流動負債	669,439
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	308,602
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	137,757
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	207,008
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	123,489
(1) 長期前受金	563,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	440,180
資本合計	2,034,187
1 資本金	3,079,796
2 剰余金	-1,045,609
(1) 資本金剰余金	72,831
(2) 利益剰余金	-1,118,440
負債・資本合計	4,885,599
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.3
修正医業収益(千円)	2,853,890

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,768	165,930
資本勘定繰入	163,133	149,646
計	377,901	315,576

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	宇城市
				病院名	宇城市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,158 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	55.7	52.8	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	55.7	52.8	59.8
平均在院日数(一般病床のみ)		21.1	19.5	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	59,756	
決算規模(千円)	35,155,191	
標準財政規模(千円)	16,946,982	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	2.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	427,407			
1 経常収益	427,294			
(1) 医業収益	373,264			
入院収益	189,279			
外来収益	129,483			
診療収入計	318,762			
その他医業収益	54,502			
(うち他会計負担金)	27,661			
(2) 医業外収益	54,030			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	47,774			
(うち長期前受金戻入)	4,988			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	480,469			
2 経常費用	480,104			
(1) 医業費用	469,023			
職員給与費	271,875	72.8	55.7	80.8
材料費	25,630	6.9	24.7	13.8
(うち薬品費)	15,588	4.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,673	2.6	11.0	4.9
減価償却費	21,260	5.7	9.0	12.9
経費	149,500	40.1	23.3	47.4
(うち委託料)	73,913	19.8	11.5	20.7
研究研修費	289			
資産減耗費	469			
(2) 医業外費用	11,081			
(うち支払利息)	51	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	365			
損益				
経常損益	-52,810			
純損益	-53,062			
累積欠損金	122,899			
経常収支比率	89.0		97.7	96.7
医業収支比率	79.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	17.6		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	73.3		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	914,296
1 固定資産	338,757
(1) 有形固定資産	338,556
(2) 無形固定資産	201
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	575,539
(1) 現金及び預金	502,296
(2) 未収金及び未収収益	72,283
(3) 貸倒引当金( )	1,255
(4) 貯蔵品	2,215
3 繰延資産	-
負債合計	355,322
1 固定負債	289,516
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,292
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	240,224
(7) リース債務	-
2 流動負債	44,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,570
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,043
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,205
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	20,986
(1) 長期前受金	40,969
(2) 長期前受金収益化累計額( )	19,983
資本合計	558,974
1 資本金	675,923
2 剰余金	-116,949
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-116,949
負債・資本合計	914,296
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.7
修正医業収益(千円)	345,603

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,747	75,435
資本勘定繰入	1,495	1,495
計	216,242	76,930

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	阿蘇市
				病院名	阿蘇医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,336 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	61.7	72.8	73.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	124	59.8	70.4	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	17.0	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	27,018	
決算規模(千円)	19,630,131	
標準財政規模(千円)	9,506,340	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	57.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	1,616,036

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,142,133			
1 経常収益	2,135,112			
(1) 医業収益	1,712,659			
入院収益	951,146			
外来収益	591,146			
診療収入計	1,542,292			
その他医業収益	170,367			
(うち他会計負担金)	96,623			
(2) 医業外収益	422,453			
(うち国・都道府県補助金)	41,782			
(うち他会計補助・負担金)	247,541			
(うち長期前受金戻入)	123,761			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,021			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,519,629			
2 経常費用	2,519,165			
(1) 医業費用	2,402,953			
職員給与費	1,279,618	74.7	55.7	61.3
材料費	262,134	15.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	123,113	7.2	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	118,981	6.9	11.0	8.2
減価償却費	291,865	17.0	9.0	10.2
経費	566,059	33.1	23.3	30.5
(うち委託料)	309,834	18.1	11.5	13.0
研究研修費	3,277			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	116,212			
(うち支払利息)	41,372	2.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	464			
損益				
経常損益	-384,053			
純損益	-377,496			
累積欠損金	2,495,749			
経常収支比率	84.8		97.7	96.5
医業収支比率	71.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	16.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	71.1		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,439,951
1 固定資産	3,886,469
(1) 有形固定資産	3,886,469
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	430,114
(1) 現金及び預金	102,523
(2) 未収金及び未収収益	322,996
(3) 貸倒引当金( )	2,988
(4) 貯蔵品	7,583
3 繰延資産	123,368
負債合計	5,281,275
1 固定負債	4,033,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,010,560
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	739,354
(6) 引当金	283,900
(7) リース債務	-
2 流動負債	502,195
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,859
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	28,273
(5) 引当金	73,022
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	150,000
(8) 未払金及び未払費用	132,995
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	745,266
(1) 長期前受金	1,336,793
(2) 長期前受金収益化累計額( )	591,527
資本合計	-841,324
1 資本金	1,445,377
2 剰余金	-2,286,701
(1) 資本剰余金	201,330
(2) 利益剰余金	-2,488,031
負債・資本合計	4,439,951
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	841,324
資本不足額(繰延収益控除後)( )	96,058
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	348,483	344,164
資本勘定繰入	41,594	41,594
計	390,077	385,758

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	35,911	2.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	145.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	熊本県
	市町村・組合名	天草市
	病院名	天草市立牛深市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,225 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	9	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	105	75.0	76.4	78.2
療養	43	78.6	71.9	71.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	76.0	75.1	76.2
平均在院日数(一般病床のみ)		24.6	25.1	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	82,739	
決算規模(千円)	59,078,711	
標準財政規模(千円)	31,300,184	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	25.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	1,494,025

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,710,933			
1 経常収益	1,710,933			
(1) 医業収益	1,584,682			
入院収益	951,887			
外来収益	468,139			
診療収入計	1,420,026			
その他医業収益	164,656			
(うち他会計負担金)	90,657			
(2) 医業外収益	126,251			
(うち国・都道府県補助金)	2,331			
(うち他会計補助・負担金)	43,041			
(うち長期前受金戻入)	68,118			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,763,099			
2 経常費用	1,763,099			
(1) 医業費用	1,683,634			
職員給与費	1,065,427	67.2	55.7	61.3
材料費	191,659	12.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	93,747	5.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,813	4.5	11.0	8.2
減価償却費	119,404	7.5	9.0	10.2
経費	305,443	19.3	23.3	30.5
(うち委託料)	145,625	9.2	11.5	13.0
研究研修費	1,283			
資産減耗費	418			
(2) 医業外費用	79,465			
(うち支払利息)	23,003	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-52,166			
純損益	-52,166			
累積欠損金	898,191			
経常収支比率	97.0		97.7	96.5
医業収支比率	94.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	89.5		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,026,188
1 固定資産	5,428,439
(1) 有形固定資産	4,318,827
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,108,752
2 流動資産	2,597,749
(1) 現金及び預金	2,129,854
(2) 未収金及び未収収益	469,681
(3) 貸倒引当金( )	1,786
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,371,069
1 固定負債	2,970,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,009,475
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	961,367
(7) リース債務	-
2 流動負債	622,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,673
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,077
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,266
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	778,170
(1) 長期前受金	1,407,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	629,139
資本合計	3,655,119
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	116,158
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	116,158
負債・資本合計	8,026,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-

備考：  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	186,160	133,698
資本勘定繰入	114,898	114,898
計	301,058	248,596

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	熊本県
	市町村・組合名	天草市
	病院名	天草市立栖本病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,491 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	24	68.4	71.0	69.9
療養	-	-	-	-
結核	46	9.7	3.9	8.0
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	29.8	26.9	29.2
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	24.3	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	82,739	
決算規模(千円)	59,078,711	
標準財政規模(千円)	31,300,184	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	25.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	435,991			
1 経常収益	435,991			
(1) 医業収益	296,202			
入院収益	158,141			
外来収益	98,958			
診療収入計	257,099			
その他医業収益	39,103			
(うち他会計負担金)	26,685			
(2) 医業外収益	139,789			
(うち国・都道府県補助金)	582			
(うち他会計補助・負担金)	129,868			
(うち長期前受金戻入)	7,494			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	418,777			
2 経常費用	418,777			
(1) 医業費用	402,860			
職員給与費	272,765	92.1	55.7	72.6
材料費	27,157	9.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	8,614	2.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,493	4.6	11.0	5.6
減価償却費	32,721	11.0	9.0	11.1
経費	69,706	23.5	23.3	31.9
(うち委託料)	29,790	10.1	11.5	13.0
研究研修費	432			
資産減耗費	79			
(2) 医業外費用	15,917			
(うち支払利息)	302	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	17,214			
純損益	17,214			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.1		97.7	97.4
医業収支比率	73.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	35.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	52.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	35.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	66.7		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,026,188
1 固定資産	5,428,439
(1) 有形固定資産	4,318,827
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,108,752
2 流動資産	2,597,749
(1) 現金及び預金	2,129,854
(2) 未収金及び未収収益	469,681
(3) 貸倒引当金( )	1,786
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,371,069
1 固定負債	2,970,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,009,475
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	961,367
(7) リース債務	-
2 流動負債	622,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,673
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,077
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,266
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	778,170
(1) 長期前受金	1,407,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	629,139
資本合計	3,655,119
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	116,158
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	116,158
負債・資本合計	8,026,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.9
修正医業収益(千円)	269,517

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,322	156,553
資本勘定繰入	16,705	16,705
計	156,027	173,258

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	天草市
				病院名	国民健康保険 天草市立新和病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,140 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	89.0	91.4	-
療養	-	-	96.6	96.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	89.0	95.3	96.6
平均在院日数(一般病床のみ)		43.8	41.9	-

設立団体の状況		
人口(人)	82,739	
決算規模(千円)	59,078,711	
標準財政規模(千円)	31,300,184	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	25.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収益(千円)	449,915

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	564,525			
1 経常収益	564,525			
(1) 医業収益	471,670			
入院収益	236,206			
外来収益	180,019			
診療収入計	416,225			
その他医業収益	55,445			
(うち他会計負担金)	21,755			
(2) 医業外収益	92,855			
(うち国・都道府県補助金)	1,748			
(うち他会計補助・負担金)	73,384			
(うち長期前受金戻入)	11,174			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	591,119			
2 経常費用	591,119			
(1) 医業費用	576,252			
職員給与費	419,185	88.9	55.7	80.8
材料費	55,338	11.7	24.7	13.8
(うち薬品費)	23,477	5.0	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,178	4.3	11.0	4.9
減価償却費	33,870	7.2	9.0	12.9
経費	65,140	13.8	23.3	47.4
(うち委託料)	15,114	3.2	11.5	20.7
研究研修費	1,023			
資産減耗費	1,696			
(2) 医業外費用	14,867			
(うち支払利息)	4,164	0.9	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-26,594			
純損益	-26,594			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.5		97.7	96.7
医業収支比率	81.9		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	79.4		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,026,188
1 固定資産	5,428,439
(1) 有形固定資産	4,318,827
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,108,752
2 流動資産	2,597,749
(1) 現金及び預金	2,129,854
(2) 未収金及び未収収益	469,681
(3) 貸倒引当金( )	1,786
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,371,069
1 固定負債	2,970,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,009,475
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	961,367
(7) リース債務	-
2 流動負債	622,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,673
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,077
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,266
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	778,170
(1) 長期前受金	1,407,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	629,139
資本合計	3,655,119
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	116,158
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	116,158
負債・資本合計	8,026,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	121,549	95,139
資本勘定繰入	14,519	14,519
計	136,068	109,658

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	熊本県
		市町村・組合名	天草市
		病院名	河浦病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	5,328 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	39	70.3	76.7	77.9
療養	60	68.4	75.4	71.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	69.1	75.9	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.7	21.3	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	82,739	
決算規模(千円)	59,078,711	
標準財政規模(千円)	31,300,184	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	25.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	876,357			
1 経常収益	876,357			
(1) 医業収益	677,802			
入院収益	465,443			
外来収益	149,257			
診療収入計	614,700			
その他医業収益	63,102			
(うち他会計負担金)	38,558			
(2) 医業外収益	198,555			
(うち国・都道府県補助金)	2,298			
(うち他会計補助・負担金)	165,833			
(うち長期前受金戻入)	26,169			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	939,650			
2 経常費用	939,650			
(1) 医業費用	900,726			
職員給与費	554,570	81.8	55.7	72.6
材料費	69,077	10.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	26,266	3.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,589	3.8	11.0	5.6
減価償却費	74,250	11.0	9.0	11.1
経費	198,056	29.2	23.3	31.9
(うち委託料)	95,817	14.1	11.5	13.0
研究研修費	1,154			
資産減耗費	3,619			
(2) 医業外費用	38,924			
(うち支払利息)	13,341	2.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-63,293			
純損益	-63,293			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.3		97.7	97.4
医業収支比率	75.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	71.5		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,026,188
1 固定資産	5,428,439
(1) 有形固定資産	4,318,827
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,108,752
2 流動資産	2,597,749
(1) 現金及び預金	2,129,854
(2) 未収金及び未収収益	469,681
(3) 貸倒引当金( )	1,786
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,371,069
1 固定負債	2,970,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,009,475
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	961,367
(7) リース債務	-
2 流動負債	622,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,673
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,077
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,266
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	778,170
(1) 長期前受金	1,407,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	629,139
資本合計	3,655,119
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	116,158
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	116,158
負債・資本合計	8,026,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.0
修正医業収益(千円)	639,244

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,609	204,391
資本勘定繰入	49,613	49,613
計	317,222	254,004

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	和水町
				病院名	和水町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	5,222 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	7	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	49	61.8	61.9	60.4
療養	42	53.2	41.4	53.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	91	57.8	52.4	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	19.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	10,191	
決算規模(千円)	7,589,648	
標準財政規模(千円)	4,205,316	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.0
修正医業収益(千円)	661,881

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	878,984			
1 経常収益	878,443			
(1) 医業収益	753,780			
入院収益	432,919			
外来収益	149,830			
診療収入計	582,749			
その他医業収益	171,031			
(うち他会計負担金)	91,899			
(2) 医業外収益	124,663			
(うち国・都道府県補助金)	4,609			
(うち他会計補助・負担金)	104,081			
(うち長期前受金戻入)	15,400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	541			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,266			
2 経常費用	845,982			
(1) 医業費用	817,509			
職員給与費	525,879	69.8	55.7	72.6
材料費	52,792	7.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	25,740	3.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,639	3.1	11.0	5.6
減価償却費	57,411	7.6	9.0	11.1
経費	180,474	23.9	23.3	31.9
(うち委託料)	76,870	10.2	11.5	13.0
研究研修費	953			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	28,473			
(うち支払利息)	5,973	0.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	2,284			
損益				
経常損益	32,461			
純損益	30,718			
累積欠損金	497,953			
経常収支比率	103.8		97.7	97.4
医業収支比率	92.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	22.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	26.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	22.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	80.7		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,535,656
1 固定資産	759,545
(1) 有形固定資産	759,545
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	776,111
(1) 現金及び預金	667,385
(2) 未収金及び未収収益	113,280
(3) 貸倒引当金( )	8,000
(4) 貯蔵品	3,446
3 繰延資産	-
負債合計	525,798
1 固定負債	341,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	341,832
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	111,420
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,290
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,514
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,726
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	72,546
(1) 長期前受金	195,891
(2) 長期前受金収益化累計額( )	123,345
資本合計	1,009,858
1 資本金	1,507,811
2 剰余金	-497,953
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-497,953
負債・資本合計	1,535,656
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	204,124	195,980
資本勘定繰入	43,273	43,273
計	247,397	239,253

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	山都町
				病院名	山都町包括医療センターそよう病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,480 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	57	69.4	76.3	82.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	57	69.4	76.3	82.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	26.0	25.7

設立団体の状況		
人口(人)	15,149	
決算規模(千円)	13,594,867	
標準財政規模(千円)	7,115,300	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	84.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	16.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.2
修正医業収益(千円)	765,555

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	992,790			
1 経常収益	992,681			
(1) 医業収益	829,500			
入院収益	398,549			
外来収益	348,627			
診療収入計	747,176			
その他医業収益	82,324			
(うち他会計負担金)	63,945			
(2) 医業外収益	163,181			
(うち国・都道府県補助金)	13,863			
(うち他会計補助・負担金)	87,042			
(うち長期前受金戻入)	23,822			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	109			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,037,681			
2 経常費用	1,035,784			
(1) 医業費用	978,918			
職員給与費	619,105	74.6	55.7	72.6
材料費	107,418	12.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	54,402	6.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,467	5.2	11.0	5.6
減価償却費	98,176	11.8	9.0	11.1
経費	152,547	18.4	23.3	31.9
(うち委託料)	98,257	11.8	11.5	13.0
研究研修費	965			
資産減耗費	707			
(2) 医業外費用	56,866			
(うち支払利息)	13,109	1.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,897			
損益				
経常損益	-43,103			
純損益	-44,891			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.8		97.7	97.4
医業収支比率	84.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	18.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	15.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	81.3		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,313,748
1 固定資産	1,340,897
(1) 有形固定資産	1,340,897
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	972,851
(1) 現金及び預金	815,606
(2) 未収金及び未収収益	149,349
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	7,896
3 繰延資産	-
負債合計	1,271,795
1 固定負債	1,049,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,038,870
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,259
(7) リース債務	-
2 流動負債	115,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,984
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,455
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,703
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	107,401
(1) 長期前受金	342,115
(2) 長期前受金収益化累計額( )	234,714
資本合計	1,041,953
1 資本金	841,096
2 剰余金	200,857
(1) 資本金剰余金	81,640
(2) 利益剰余金	119,217
負債・資本合計	2,313,748
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	173,733	150,987
資本勘定繰入	29,013	29,013
計	202,746	180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	熊本県
		市町村・組合名	くまもと県北病院機構設立組合
		病院名	くまもと県北病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	91.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	91.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	3,559,882	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	835			
1 経常収益	835			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	835			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	835			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	835			
2 経常費用	835			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	835			
(うち支払利息)	835	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	-		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	417	835
資本勘定繰入	88,915	177,829
計	89,332	178,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	小国町外1ヶ町公立病院組合
				病院名	小国公立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種	該当	
建物面積	4,387 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	73	70.4	72.4	65.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	73	70.4	72.4	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	14.0	18.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.8
修正医業収益(千円)	943,002

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,489,377			
1 経常収益	1,489,377			
(1) 医業収益	1,017,191			
入院収益	593,367			
外来収益	305,182			
診療収入計	898,549			
その他医業収益	118,642			
(うち他会計負担金)	74,189			
(2) 医業外収益	472,186			
(うち国・都道府県補助金)	5,620			
(うち他会計補助・負担金)	162,491			
(うち長期前受金戻入)	37,791			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,539,027			
2 経常費用	1,539,027			
(1) 医業費用	1,181,047			
職員給与費	622,535	61.2	55.7	72.6
材料費	122,160	12.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	71,237	7.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,340	3.9	11.0	5.6
減価償却費	82,920	8.2	9.0	11.1
経費	350,356	34.4	23.3	31.9
(うち委託料)	104,261	10.2	11.5	13.0
研究研修費	2,832			
資産減耗費	244			
(2) 医業外費用	357,980			
(うち支払利息)	652	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-49,650			
純損益	-49,650			
累積欠損金	1,062,040			
経常収支比率	96.8		97.7	97.4
医業収支比率	86.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	81.4		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,085,226
1 固定資産	871,588
(1) 有形固定資産	849,111
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	22,477
2 流動資産	213,638
(1) 現金及び預金	116,187
(2) 未収金及び未収収益	93,654
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,797
3 繰延資産	-
負債合計	475,840
1 固定負債	109,496
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,522
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	511
(7) リース債務	1,463
2 流動負債	100,984
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,561
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,615
(6) リース債務	5,733
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,313
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	265,360
(1) 長期前受金	553,243
(2) 長期前受金収益化累計額( )	287,883
資本合計	609,386
1 資本金	1,508,581
2 剰余金	-899,195
(1) 資本金剰余金	162,845
(2) 利益剰余金	-1,062,040
負債・資本合計	1,085,226
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,673	236,680
資本勘定繰入	18,608	41,501
計	250,281	278,181

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	熊本県
				市町村・組合名	球磨郡公立多良木病院企業団
				病院名	多良木病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,337 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	183	76.6	70.7	70.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	183	76.6	70.7	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	15.8	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収益(千円)	2,955,070

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,167,963			
1 経常収益	4,161,454			
(1) 医業収益	3,015,070			
入院収益	1,838,285			
外来収益	977,450			
診療収入計	2,815,735			
その他医業収益	199,335			
(うち他会計負担金)	60,000			
(2) 医業外収益	1,146,384			
(うち国・都道府県補助金)	19,785			
(うち他会計補助・負担金)	149,141			
(うち長期前受金戻入)	51,617			
(うち資本費繰入収益)	34,000			
(3) 特別利益	6,509			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,338,040			
2 経常費用	4,337,809			
(1) 医業費用	3,301,354			
職員給与費	1,717,316	57.0	55.7	61.3
材料費	411,412	13.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	178,997	5.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	200,124	6.6	11.0	8.2
減価償却費	246,048	8.2	9.0	10.2
経費	908,675	30.1	23.3	30.5
(うち委託料)	191,881	6.4	11.5	13.0
研究研修費	7,083			
資産減耗費	10,820			
(2) 医業外費用	1,036,455			
(うち支払利息)	26,952	0.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	231			
損益				
経常損益	-176,355			
純損益	-170,077			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.9		97.7	96.5
医業収支比率	91.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	91.1		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,604,602
1 固定資産	5,003,504
(1) 有形固定資産	4,121,699
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	881,805
2 流動資産	2,601,098
(1) 現金及び預金	1,976,808
(2) 未収金及び未収収益	644,794
(3) 貸倒引当金( )	33,431
(4) 貯蔵品	12,927
3 繰延資産	-
負債合計	2,909,853
1 固定負債	1,464,417
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,417,560
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	46,857
2 流動負債	549,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	158,902
(6) リース債務	22,193
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	230,668
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	895,455
(1) 長期前受金	2,014,361
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,118,906
資本合計	4,694,749
1 資本金	2,647,262
2 剰余金	2,048,596
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,048,596
負債・資本合計	7,604,602
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	362,412	209,141
資本勘定繰入	177,056	66,000
計	539,468	275,141

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。